

2025 年 8 月 1 日

各位

会 社 名	M e d i c i N o v a , I n c		
代表者名	代表取締役社長兼 CEO 岩城 裕一 (コード番号：4875 東証スタンダード)		
問合せ先	東京事務所代表 副社長 兼最高医学責任者 (CMO)	松田 和子	
	電話：03-3519-5010 E-Mail：infojapan@medicinova.com		

スタンバイ型株式購入契約（SEPA）の締結に関するお知らせ

2025 年 7 月 31 日 米国 ラ・ホイヤ発 – メディシノバ (MediciNova, Inc.) (米国カリフォルニア州 ラ・ホイヤ、代表取締役社長兼 CEO : 岩城裕一) (以下「当社」といいます。) は、2025 年 7 月 31 日付けで、米国の投資運用サービス企業の Yorkville Advisors Global, LP (米国ニュージャージー州 マウンテンサイド、President & Managing Partner : Mark Anthony Angelo) (以下「Yorkville Advisors」といいます。) との間でスタンバイ型株式購入契約 (Standby Equity Purchase Agreement ; SEAP) ^{*1} (以下「SEAP」といいます。) を締結したことをお知らせいたします。

当該 SEAP に基づき、当社は、契約締結日より 36 ヶ月間において、最大で 3,000 万米ドル（約 44.8 億円）の当社普通株式を発行し、個別取引により売却することが可能となります。ただし、各取引は、取引日の直前 5 営業日における当社普通株式の平均日次取引量の 100%が上限として設定されます。当社が売却を行う株式は新株予約権を伴わず発行され、Yorkville Advisors が運用する 1 つまたは複数の投資ファンドに対して市場価格の 97%に相当する価格で売却されます。当該 SEAP に基づく当社株式の売却は、当社から Yorkville Advisors への書面による請求通知に基づき随時実行可能です。

当社は、当該 SEAP によって調達した資金を研究開発プログラムの更なる推進及び事業運営費に充当することを予定しております。

当社代表取締役社長兼 CEO の岩城裕一は次のようにコメントしています。

「当社の現在の財務状況は、継続的な事業運営及び進行中の開発プログラムへの投資に十分な状況であると認識しています。しかし、この度の **SEPA** により、追加的に柔軟な資金調達手段を確保することができ、研究開発プログラムの更なる前進に加え、事業拡大や戦略的な機会の追求が可能になります。この **SEPA** では、ワラント（新株予約権）を発行することなく資金調達を実行でき、有利な市場環境を活用できることも大きな特長であります。**Yorkville Advisors** との契約は、当社の市場での地位と臨床開発の進展を裏付けるものであると考えております。」

なお、現時点において本件が当社の 2025 年 12 月期の業績に与える軽微であります。今後開示すべき事項が発生した場合には速やかに公表いたします。

以上

(注意書き)

括弧内に表示されている円貨は、便宜上 2025 年 7 月 31 日（日本時間）現在の株式会社三菱 UFJ 銀行の対顧客電信直物売買取相場の仲値 1 米ドル＝149.39 円で換算された金額を、百万円以下を切捨てて表示したものであります。

* 1 スタンバイ型株式購入契約（SEAP）について

SEAP は、株式発行による資金調達を企図する企業と投資家間において締結される法的拘束力を有する契約です。購入価格や最大購入数、出来高制限、転売登録などあらかじめ定められた条件に基づき、企業から発行される新株式を投資家が購入するもので、一般的な新株式の発行による資金調達と比べ簡便なプロセスにより株式を売却することが可能であるという利点を有します。

メディシノバについて

メディシノバ（MediciNova, Inc.）は、米国を拠点とする臨床開発ステージにあるバイオ医薬品開発企業です。炎症性疾患、神経変性疾患、癌などの様々な疾患領域において、開発後期ステージの広範なパイプラインを開発しています。

主要な開発品である 2 つの化合物、MN-166（イブジラスト）と MN-001（タイペルカスト）は複数の作用機序を持つ低分子化合物です。動物モデルスタディで様々な効果が確認されているほか、これまでの臨床経験において高い安全性プロファイルを有しています。

MN-166（イブジラスト）は、現在、筋萎縮性側索硬化症（ALS）、変性脊椎頸椎症（DCM）で臨床第Ⅲ相（フェーズ 3）段階の治験が進められています。他にも膠芽腫（グリオブラストーマ）及び嗜好品依存症の治療薬候補品として臨床第Ⅱ相（フェーズ 2）段階にあります。

MN-001（タイペルカスト）は、糖尿病による脂質異常症・非アルコール性脂肪性肝疾患（NAFLD）を対象に、臨床第Ⅱ相（フェーズ 2）段階の治験が進められています。

当社は、欧米政府や公的機関からの研究資金助成を受け、多くの医師主導型臨床治験を実施してきた強固な実績を有しています。

当社詳細につきましては <https://medicinova.jp/> をご覧下さい。本社所在地はアメリカ合衆国カリフォルニア州 ラ・ホイヤ、スイート 300、エグゼクティブ・スクエア 4275（電話 1-858-373-1500）です。

注意事項

このプレスリリースには、1995 年米国民事証券訴訟改革法（The Private Securities Litigation Reform Act of 1995）に規定される意味での「将来の見通しに関する記述」が含まれている可能性があります。これらの記述には、MN-166、MN-001、MN-221 及び MN-029 の治療法の将来における開発や効果に関する記述などが含まれます。これらの「将来の見通しに関する記述」には、そこに記述され、示されたものとは大きく違う結果または事象に導く多数のリスクまたは不確定要素が含まれます。かかる要素としては、MN-166、MN-001、MN-221、または MN-029 を開発するための提携先または助成金を得る可能性、当社の事業または臨床開発を行うために十分な資金を調達する可能性、将来の臨床治験のタイミング、費用、計画など、臨床治験、製品開発および商品化に付随するリスクや不確定要素、FDA に対して書類を提出するタイミング、臨床開発及び商品化のリスク、現段階の臨床治験の結果が必ずしもその後の製品開発の行方を決定するものではない可能性、当局の承認取得の遅延または失敗の可能性、臨床治験の資金を第三者機関に頼ることによるリスク、商品候補に対する知的財産権に関するリスク及びかかる権利の防御・執行能力に関するリスク、製品候補の臨床治験または製造を依頼している第三者機関が当社の期待通りに履行できない可能性、さらに臨床治験の開始、患者登録、完了または解析、臨床治験計画の妥当性または実施に関連する重大な問題、規制当局への書類提出のタイミング、第三者機関との提携またはタイムリーな資金調達の可否などに起因する遅延及び費用増大に加え、当社が米国証券取引委員会に提出した 2024 年 12 月期の Form10K 及びその後の 10Q、8K など届出書に記載されているものも含め、しかしそれに限定されないその他のリスクや不確定要素があります。したがって、「将来の見通しに関する記述」はその時点における当社の状況を述べているにとどまり、実際の結果または成り行きは、必ずしも予想通りにはならない可能性があることにご留意下さい。また当社には、この記述に関して、情報の修正または更新を行う義務はありません。